

ヒューマンファクタ 事故分析手法

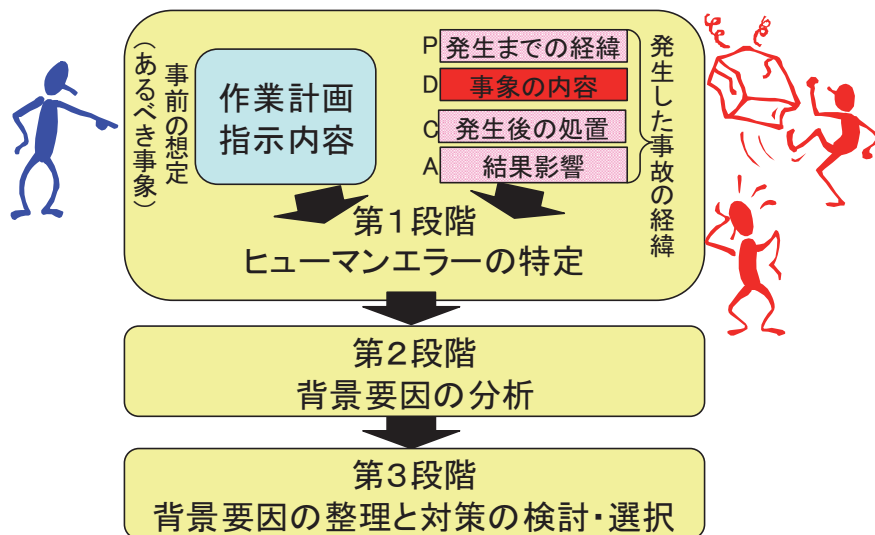
【概要】

個人の作業結果が引き金になって発生した事故でも、その背景には組織の安全体制・風土等の安全マネジメントの問題があると考えられ、組織的な取組みが求められています。

このため、ヒューマンエラーに起因する事故防止に向けた安全マネジメントの支援ツールの一つとして、ヒューマンファクタ事故分析手法を開発しました。

【特徴】

分析手続きを3段階に分け、最初にプロセス管理(PDCA)の考え方を取り入れ「何が事故を発生させる事象（ヒューマンエラー）なのか？」を特定し、次に「その発生に影響する要因（ヒューマンファクタ）は何か？」を分析し、最後に対策検討を行います。



【用途】

運転取扱作業のミスだけではなく、検修や保守工事における不具合のヒューマンファクタ分析にも適用できます。

また、エラーの再発防止だけではなく、リスク（どのようなエラーがどのような作業で発生し易く、どのような影響があるのか）を管理するための基礎資料として、トラブルの未然防止に役立ちます。

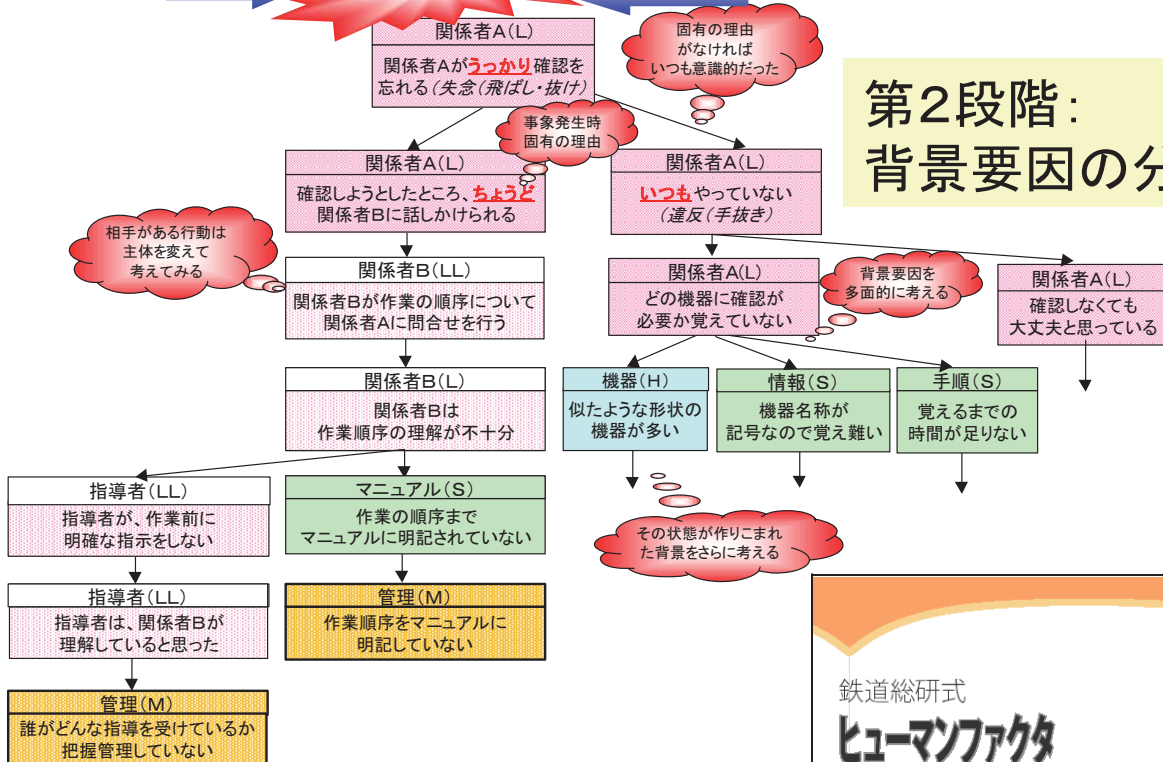
第1段階: ヒューマンエラーの特定

工程	日時	本来の取扱(ルール) (S)	本人 (L)	関係者 (LL)	機器 (H)	環境 (E)	備考 (M)	逸脱

予め期待した目標
(指示内容)

実際の関係者の
行動・状態

ズレ=エラー



第2段階: 背景要因の分析

分析作業を支援するため、分析手続きやヒューマンファクタに関する知識、事例等をまとめたハンドブックを作成しました。

一般価格 ¥2,100- (税込み)
 鉄道技術推進センター会員価格 ¥1,050- (税込み)
 ※ 別途送料がかかります
 (お問合せ・お申し込みは、研友社(☎042-572-7157)へ)

